

## メディア講義開講にあたって

学長 石田 朋靖

### 学生、特に新入生のみなさんに

新型コロナウイルスが急速に蔓延する中、宇都宮大学では、全国から集まった学生のみなさんの安全と感染拡大阻止を考え、授業開始を4月20日に延期し、さらにネットを通じたメディア講義としました。

このメディア講義では、c-learning というアプリケーションを使い、静止画のPDFファイルと音声ファイルをダウンロードして講義を受け、そこに小テストやレポートを提出することが基本となります。動画やリアルタイムの映像配信がないため、もしかしたら物足りなく感じる方がいるかと思えます。

しかし、これは特に新入生のみなさんのネット環境が不明であるため、動画などを配信して、データ通信量が不足する（いわゆるギガ不足）、音声が聞こえない、動画が止まるといった問題が生じて講義に参加できない方が出ることを未然に防ぐための措置です\*1。

このため、最初の2～3回の講義は、誰もが対応できる静止画と音声での講義によって、教員も含め少しずつメディア講義になれていただき、受講するみなさんが対応可能と確認できた講義から、徐々に動画やリアルタイム講義を増やしていく予定です。

宇都宮大学は、一人の学生も取り残していないことを確認しながらメディア講義を構築していきます\*2。どうか静止画と音声だけということでごっかりしないでください。

最後に、Stay Home! 家にとどまっています。皆さんと周りの人たちのためです。宇都宮大学のすべての教職員は、どんな状況にあっても熱心に皆さんをサポートし育てていきます。

\*1 通信環境に問題ない条件下であっても、学生のスマホの5%以上で動画講義が途中で止まったなどの実験結果が報告されています。

\*2 宇都宮大学はSDGs すなわち持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals への貢献をひとつの目標にしています。世界の大学のSDGs 貢献度を評価した THE University Impact Rankings 2019 では、かなり上位にランクインしました。このSDGs の基本的精神は「一人も取り残さない (leave no one behind)」です。宇都宮大学ではこのSDGs の精神に寄り添って、全学生が見て聴くことが出来るメディア講義を実現することが最重要と考えています。